D,NEWS 岩歯11月号

**第４３回　北海道歯科医師テニス大会**

　日程：９月23（土）・24日（日）

　会場：スパ・イン・メープルロッジテニスコート

　会場となった毛陽町は、岩見沢市の東部に位置しなだらかな丘陵が連なり、古くからリンゴを中心とした果樹栽培が盛んな土地で、市民から「ふるさと毛陽」と呼ばれリゾート地として親しまれてきた。そのリンゴの実が赤くなり始めた９月23（土）・24日（日）の両日、北海道歯科テニス協会主催、岩歯テニス部主管で標記大会が全道各地から48名の選手を集めスパ・イン・メープルロッジテニスコートで開催された。

　午前９時、旗手一永大会実行委員長から開会宣言が出され、岩歯会長倉増淳大会会長より「日頃の練習の成果を思う存分、勝敗にこだわり発揮して欲しい」、八重樫裕北海道歯科テニス協会会長からは「美味しい空気を一杯吸い、怪我のないよう頑張って欲しい」との挨拶の後、昨年度優勝の男子A藪下吉典（旭）・今多将（札）ペア、男子B松井繁幸（室）・本田慎（室）ペアより優勝杯返還が行われた。その後、次年度開催地の室蘭歯会の本田健先生から「ぜひ来年は室蘭にお越しください、室蘭焼鳥も味わって行ってください」との挨拶を頂いた。加藤久尚大会実行副委員長より競技説明が行われ、熱い２日間の熱戦の火蓋が切って落とされた。

　今大会は過去にあまり例を見ない２日間にわたる大会ということもあり、また試合会場がリゾート地とあって熱い応援ばかりではなく、選手やご家族、応援の方々のくつろがれている姿が多く見られた。試合である以上、勝敗はつきもの、しかし、そこには勝者と敗者の隔たりはなく、また選手の勇姿ばかりではなく、ご家族や応援団、そして開催スタッフの笑顔が心に残る大会であった。

　閉会式では旗手大会実行委員長より「テニスリゾートを楽しもう」をコンセプトに何時もの大会とは違う環境で開催した。コート面数の関係で２日間での開催という日程となったが、プレーヤーの方々には改めてテニスを楽しんで頂けたかと思う。少ないスタッフとテニスには詳しくない先生方と運営したため、至らないところも多々あったかと思うが、怪我人もなく、皆様の協力のもと無事大会を終えられたことをここに感謝申し上げる。との挨拶があった。（木村　悟）

**第32回いわみざわ健康まつり**

日時：10月１日（日）９：45から16：00

場所：岩見沢市有明町1-14

　岩見沢駅東側の「イベントホール赤れんが」で多くの市民を集め標記イベントが開催され、「第11回８０２０歯っぴースマイル」の会場を設け、衛生士会と技工士会と共に８０２０歯っぴースマイル体験コーナーや無料健診コーナー、無料義歯洗浄コーナーなどを行い歯科衛生思想の普及に努めた。午後１時40分からはステージイベンとして、「いつまでの健康な歯で」というキャッチフレーズで先に執り行われた「８０２０コンクール」と「歯・口に関する図画ポスターコンクール」の表彰式が行われた。（木村　悟）